

進路だより

第7号 (1月24日)

日本大学櫻丘高等学校 進路指導部



資格の大原による公認会計士講座説明会の様子

はじめに

17日、18日に大学入学共通テストが実施され、全国650の会場で約49万人が受験しました。本校からも多くの3年生が受験し、これを皮切りに一般選抜がいよいよ本格化します。

受験生のみなさん、今はまさに努力の真っ最中だと思います。毎日の勉強に追われ、時には不安や疲れが襲ってきることもあるでしょう。しかし、大谷選手が常に言うように、「積み重ねた努力は裏切らない」という言葉通り、今の一步一步が必ず未来に繋がります。大谷選手が野球で成し遂げた偉業も、日々の練習と精神的な強さが支えとなっているように、今の頑張りが皆さんにとって必ず大きな成果を生むと信じています。

共通テストを終え、いよいよ最後の追い込み。ここからが本当の勝負です。焦らず、自分のペースを守りながら、集中して進んでいきましょう。今の努力が、合格という大きな成果に結びつくよう、応援しています。

1、2年生のみなさんは、受験生の姿を見て、どれだけ努力しているか、どれだけ真剣に向き合っているかを感じ取ってください。そして、エールの気持ちを送るとともに、できる準備を今のうちから進めていきましょう。

今回の内容

- 1 【1, 2年生】
令和8年度高大連携教育に参加しよう
- 2 【1年生】
2月2日は進研記述模試！
- 3 【2年生】
2月2日は日大チャレンジ模試(G)
または進研共通テスト模試(S)
- 4 【3年生】
頑張れ受験生！

今後の主な進路行事

- 1/31 (土) 2年S進研模試 理社
2/2 (月) 1年進研記述模試
2年G日大チャレンジ模試
2年S進研共通テスト模試



令和8年度高大連携教育に参加しよう

本校の特色の大きな柱として、「高大連携教育」があります。その取り組みの一つとして、大学の正規授業を受講できるプログラムがあります。これは放課後の時間を利用して、大学の5限に当たる講義を受講できるというものです。大学生と一緒に毎週講義を受講し、成績の基準をクリアすると単位認定を受けることができます（取得した単位は大学入学後に、卒業に必要な単位として認められます）。隣接する文理学部に加え、法学部、経済学部、商学部とも締結を結び受講できる講義が幅広くなっています。

1年生はまずは高校の授業に慣れることに重きをおいているため、高大連携教育は、主に2，3年生を対象にしています。**特に現1年生の皆さん、4月から大学の専門的な学びに触れて、進路について考えるきっかけとしませんか？**

令和8年度のお知らせ及び開講講座の一覧は2月中旬に配布します。参考までに令和7年度の開講講座の一部を右側に紹介します。

令和7年度の開講講座（抜粋）

《文理学部》

日本史概説 英語文学概説1
日本語史Ⅰ 情報処理入門
倫理学概論 心理学

《法学部》

法学Ⅰ 政治学Ⅰ 経済学Ⅰ

《経済学部》

経済学入門 現代企業論A

※令和8年度の講座は2月中旬に紙面にてお知らせします。

※前期（4～7月）、後期（9～1月）の授業を一括で募集します。

※大学の5限の授業は16:20～17:50です。原則対面授業となりますが、一部オンラインの授業もあります。

※申込みの締切は2月下旬を予定しています。

1年生

2月2日は進研記述模試！

4月から高校生となり、もうすぐ1年が経とうとしています。この1年で皆さんはどれだけの学力を身に付けられたでしょうか。皆さんの現在の学力を測り、今後の学習に役立てるために、進研模試にチャレンジしましょう。

7月の進研記述模試に続き、1年生では2度目の記述式の実力テストということになります。この模試は、約40万人近くの生徒が受験するとても大規模な実力テストです。現高校1年生が大学入試を受験する際の受験人口が約62万人ですから、実に3人に2人が、同じ試験を受験していることとなります。

大学入試に向けて、高い目標を掲げている人は、目標との距離を正確に把握し、今後の学習への指標としましょう。また、「日大に付属の推薦で進学するから、実力テストは関係ないな……」という人！付属推薦で進学する場合であっても、**4月15日(水)の基礎学力到達度テストでは、高校1年生の全範囲から出題されます。**さらに、2年4月の基礎学からは、英数国の2割分の成績が付属推薦に利用されることとなります。学校の定期考査だけでなく、模試に対して真剣に取り組みましょう。受験後の復習を丁寧に行うことで、基礎学対策にもなるのです！

試験時間

- ①国語 80分
- ②数学100分
(昼食)
- ③英語 80分※リスニングあり

範囲はこちら→



コンポイントアドバイス！

「7月の記述模試は激ムズで点数低かったな～」という生徒もいるでしょう。それもそのはず。**進研記述模試は、実は毎回どの教科も平均点が35点くらいになるように作成されているのです。**通常感覚とはずいぶん違いますね。難しい問題にも粘り強く取り組み、完答できなくても、途中点（部分点）をかき集めるという気持ちで取り組みましょう。**35点で偏差値50、50点で偏差値60、65点で偏差値70くらいのイメージをもつと良いです。**

2年生は日大チャレンジ模試(Gクラス) または進研共通テスト模試(Sクラス)

日大チャレンジ模試(Gクラス)は、4月に行われる基礎学力到達度テストの予行演習としての意味合いがあります。4月の本番は英数国の3教科で行われますが、今回の模試はこれに地歴公民(文系)または理科(理系)を加えています。基礎学は4月15日(水)です。英数国の3教科に関しては、3年4月の基礎学までで全体の4割の成績が決定します。模試に対して真剣に臨み、ここで得られた課題を基礎学までに克服できるよう、有効に活用してください。

続いて進研共通テスト模試(Sクラス)です。新課程入試2年目の学年である皆さんは、共通テストの傾向が変わっている過渡期にあたります。そのため、過去問に頼りすぎるよりも、模試を多く受験することで「模試を利用して実力を養成する」という視点が大切です。「受験勉強を本格化していないから、まだ模試を受験するのはちょっと……」という声をよく聞きます。しかし、模試は準備が出来てから行うのではなく、今の実力を把握すること、そして、間違えた問題は解説をよく読み、実力を高めるために行うのです。模試は予備校の中でも経験豊富な先生が近年の出題傾向を分析し、練りに練って作成しています(模試の問題と類似した問題が実際に共通テストで出題されるのはそのためです)。解説も非常に丁寧に書かれていたり、進研模試ではマナビジョンなどで解説動画が公開されたりしています。試験時間や科目数が多く長丁場となりますが、模試を実施するねらいを理解して、有効に活用できるようにしましょう。

なお、Gクラス生徒の中で、他大学への一般選抜を考えている生徒は、日大チャレンジ模試の代わりに同日に行われるSクラスの進研共通テスト模試を受験できます(1月17日で申込みを締め切っています)。当日は自分の教室とは別の会場で試験を受けることになります。詳細は後日クラス担任より説明があります。

試験時間

日大チャレンジ模試(Gクラス)

国語 60分
英語 60分※リスニングあり
数学 60分
(昼食)
地歴公民・理科 60分

進研共通テスト模試(Sクラス)

英語リーディング 80分
数学① 70分
数学② 70分
(昼食)
国語 90分
英語リスニング 30分
※地歴公民・理科(60分)は、
1/31(土)4限に実施

追加科目(情報、理科2科目め、文系の理科など)を希望する生徒は、自宅受験が可能です。

範囲はこちら→



頑張れ受験生！

1月17日、18日に大学入学共通テストが行われました。

3年生の皆さんお疲れ様でした。

6年目となった共通テストは、昨年度が比較的簡単なテストであったこともあり、難化が予想されていました。河合塾の予想では、平均点が上がりそうなのは英語リーディング、化学、生物、歴史総合・日本史探求など。平均点が下がりそうなのは、英語リスニング、数学ⅠA、数学ⅡBC、国語、物理、歴史総合・世界史探求などと予測しています。また、国公立大学のボーダーラインなどもHPで公開されていますので、ぜひ参考にしてみてください。

国公立大学への出願は2月4日（水）がリミット。前期、中期、後期を一括で出願することになります。本校ではベネッセのCompassを使用して判定シミュレーションなどを行っています。出願動向を見極め、納得のいく出願をしましょう。私大に関しては共通テスト後に出願できる学校が数多くあります。必要に応じて入試スケジュールを修正することも必要です。

また、看護系や家政系を中心に私大の個別入試がスタートしています。2月に入ると本格的な受験シーズンの到来。中には2日連続、3日連続で入試日程を組んでいる人もいます。体調に留意し、実力を発揮できるようにしましょう。

入試会場へのアクセスや持ち物などもよく確認しましょう。特に、受験票は各自で印刷して当日持参する大学が増えています（日大も）。

また、**合格後の入学手続きは慎重に。**入試スケジュールと照らし合わせて、入学手続きを進めるべきか、他校の結果を見てからで間に合うのか？保護者ともよく確認し、ミスのないように進めていきましょう。

いよいよ始まる個別入試。受験生の皆さんの健闘を祈ります！

共通テスト平均点（中間集計1/21）

英語リーディング	65点
英語リスニング	56点
数学ⅠA	51点
数学ⅡB	59点
国語	116点
物理基礎	36点
化学基礎	30点
生物基礎	38点
地学基礎	29点
物理	47点
化学	60点
生物	57点
地学	46点
地理探究	64点
日本史探究	64点
世界史探究	62点
公共・倫理	65点
公共・政経	66点
地理総合	25点
歴史総合	25点
公共	29点
情報Ⅰ	60点

**Kei-Net 共通テスト
リサーチ ボーダー**



試験日の持ち物チェック

★必ず持参するもの

- ☐ 受験票 ☐ 黒鉛筆 ☐ シャープペン
- ☐ プラ消しゴム ☐ 鉛筆削り
- ☐ 時計 ☐ 昼食・飲み物

★あると良いもの

- ☐ カイロ、ひざ掛け
(会場が寒い場合があるので注意)
- ☐ カーディガン
(暖房で暑すぎることもあるので
着脱できるものを準備)
- ☐ 目薬 ☐ 音楽プレイヤー
- ☐ 座布団、クッション
- ☐ お菓子(小腹がすいたとき用に)